

中国・四国地区 図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ
「いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報が得られる地域づくり
の第一歩」 in 広島
2018年12月14日

健康医療情報提供における 病院図書室と公共図書館の連携

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター図書室
橋田圭介
e-mail: khs0169@khsc.or.jp

1

高知医療センターの紹介

開設主体 高知県・高知市病院企業団
病床数 660床 (一般588床 結核20床 感染症8床 精神44床)
構造階数 12階 基礎免震構造
延床面積 本館 約67,400㎡
精神科病棟 約 2,800㎡
がんセンター 約 3,600㎡
開院 2005年3月1日 国内初の病院PFI事業で開院



2

高知医療センターの歴史

2005年2月

- ・ 設立母体と大学医局が異なる病院を統合して開院
高知県立中央病院 高知市立市民病院



400床



410床

- ・ 国内初の「病院PFI事業」
病院建設や建物の維持管理だけでなく、政令8業務・
医療関連サービスをSPC（特定目的会社）と30年間の
契約

2010年3月

- ・ 病院PFI事業解約
国内2番目の解約

2010年4月～

- ・ 高知県・高知市病院企業団直営

3

高知医療センターの基本理念

医療の主人公は患者さん

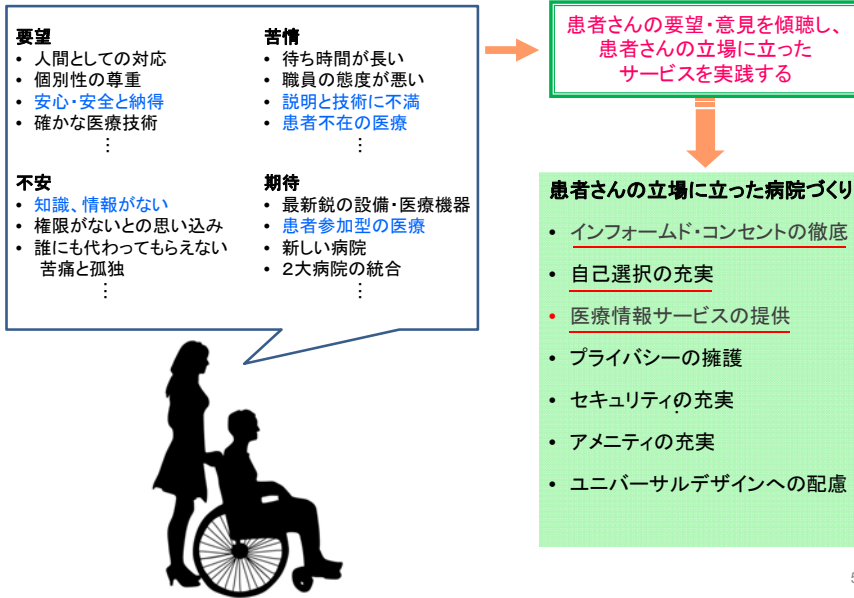
高知医療センターの基本目標

- ・ 医療の質の向上
- ・ 患者さんサービスの向上
- ・ 病院経営の効率化



4

患者さんの立場に立ったサービスが提供できる病院



5

患者の権利についての主な動き

日本	欧米
1973年	「患者の権利章典」アメリカ病院協会
1981	「患者の権利に関するWMAリスボン宣言」 世界医師会
1983 「患者の権利と責任」日本病院協会	
1984 「患者の権利宣言」 患者の権利宣言全国起草委員会	
1990 「説明と同意についての報告」 日本医師会生命倫理懇談会	
1991 「患者の諸権利を定める法律要綱案」 患者の権利法をつくる会	
1992 「患者の権利章典」日本生協連医療部会	
1992 「患者の権利の確立に関する宣言」 日本弁護士連合会	
1994 「インフォームド・コンセントについて 一病院の基本姿勢」日本病院会	「ヨーロッパにおける患者の権利の促進に 関する宣言」世界保健機構(WHO)
1995 「インフォームド・コンセントの在り方に関する 検討会報告書」厚生省	「患者の権利に関するWMAリスボン宣言」改訂 世界医師会(インドネシア、バリ島)
2000	「医療ミスを防ぐための20か条」米国厚生省
2002	「新ミレニアムにおける医療プロフェッショナル ズム：医師憲章」欧米内科4学会
2003 「看護者の倫理綱領」日本看護協会	
2004 「医師の職業倫理指針」日本医師会	

6

看護者の倫理綱領

4条 看護者は、人々の知る権利及び自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護する。

人々は、自己の健康状態や治療などについて知る権利、十分な情報を得た上で医療や看護を選択する権利を有している。看護者は、対象となる人々の知る権利及び自己決定の権利を擁護するために、十分な情報を得る機会や決定する機会を保障するように努める。

日本看護協会 2003年

医師の職業倫理指針

2. 患者に対する責務

(16) 患者の責務に対する働きかけ

医師は患者が病気や医療について正しい知識を得るよう、患者に対して助力することも大切である。

日本医師会雑誌131巻 第7号 付録(2004)

7

高知医療センター患者さんの権利章典 (2005年開院)

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります。

1 「受ける権利」

- ① 患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ② 患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③ 患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④ 患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の「0まごころ窓口」へお寄りください。
- ⑤ 患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の「なるほどライブラリ」をご利用いただけます。

8

なるほどライブラリの特徴

医療従事者用図書室と患者用図書室の併設



患者の知る権利を保障し、情報の面から患者の自己決定を支援する

9

高知医療センター図書室（なるほどライブラリ）

場 所	2階 外来エリア
面 積	約230㎡
蔵 書	約35,800冊 医学書・医学雑誌、 一般書、絵本、マンガ
購読雑誌	冊子体：和雑誌 93誌、洋雑誌 3誌 電子ジャーナル 約4,500タイトル
設 備	図書システム（富士通Intrasearch）用サーバ 業務用端末 2台 蔵書検索用端末 1台 インターネット用端末 5台 カラー複写機（複合機）
閉室日	土・日・祝祭日
職 員	3名：司書2名+事務補助員1名 ※当初は企業団1名・SPC 1名
利用対象者	どなたでも

10

契約している医学資料

- 1 購入医学雑誌冊子体 95タイトル
和雑誌 92 タイトル、 洋雑誌 3タイトル
- 2 電子ジャーナル（4,489タイトル）
 - 1) [Science Direct病院版](#)
エルゼビアグループの臨床系商業誌 1,593タイトル
 - 2) [MEDLINE with Full Text](#)
MEDLINEのフルテキスト版データベース1,470タイトル
 - 3) [メディカルオンライン](#)
国内商業誌・学会誌 1,393タイトル
 - 4) 単体契約 33タイトル
- 3 医学電子書籍
丸善e-BOOK Library 202タイトル
- 4 臨床支援ツール
 - 1) DynaMed 2) UpToDate 3) 今日の診療インターネット版
- 5 文献検索
 - 1) 医学中央雑誌Web 2) JDreamⅢ 3) 最新看護Web

11

なるほどライブラリ



12

インターネット上の医療情報のプリントアウト



13

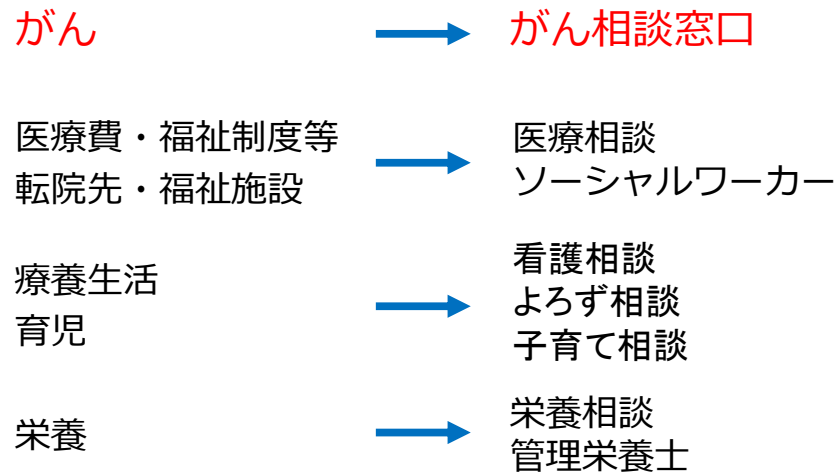
なるほどライブラリ利用状況 (平成29年度)

- 利用者 17,310人 (1日平均70.1人)
 - うち一般利用者 12,756人
 - うち職員 (開室時) 4,554人
 - 貸出利用者 5,102人 (1日平均20.7人)
- 貸出冊数 21,789冊 (1日平均88.2冊)
- インターネット利用者 1,146人 (1日平均 4.6人)

- 文献依頼件数 2,106件
 - うち院内受付件数 1,124件
 - うち外部機関からの受付件数 982件

14

相談内容による院内各窓口との連携



15

図書室内のがん相談支援センター看板



16

がん相談支援センターとの連携

2017年4月「がんサポートセンター」オープン

- ・がん患者サロンの医学書登録
高知県がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金
- ・がん患者サロンへの一般図書提供、絵画展示協力



がん患者サロン

17

県内図書館との連携

- 「県内図書館関係者の集い」への参加と発表
高知大学と高知県教育委員会の主催
- 「第40回高知県図書館大会」（2012年）
当院での開催と発表
- 県内公共図書館からの相談対応、医学文献提供
- 公共図書館からのブックリストによる図書館紹介
「闘病記・看護の記録」「こころと、向きあう」
「大活字本リスト」「高知点字図書館蔵書目録」等
- 高知県立図書館・高知市民図書館からの図書寄贈
- 高知県立図書館・高知市立市民図書館蔵書の企画展示

18

県外での広報活動

- 公開シンポジウム(2005年)
大阪市立大学大学院創造都市研究科
「これからの医療情報を考える！～患者図書室/患者情報室のさらなる発展をめざして～」
- 第23回医学情報サービス研究大会（2006年）
ワークショップ「市民への医療情報提供の実践的取組み～医学・医療情報を扱う図書館として～」
- 第14回医学図書館員基礎研修会（2007年）
日本医学図書館協会
講義7：患者サービス
- 第93回全国図書館大会(2007年)
「分科会：公共図書館による健康情報提供：連携協力でサービスアップをめざそう！」
- 第52回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会(2016年)
事例報告「患者さんサービスを充実させるための地域の各機関との関わり」

19

県内公立図書館司書への 医療健康情報サービス研修

- 縣市合同図書館の「健康・安心情報コーナー」運営のため

高知県立図書館司書

期間：2014年2月4日～2月27日

時間：8:30～17:15

高知市立市民図書館司書

期間：2015年7月1日～7月31日

時間：8:30～17:15

20

医療健康情報サービス研修の内容

- 図書・雑誌等資料の収集・整理（分類・目録）業務
- レファレンス・サービス業務
- データベース検索業務
- その他、利用者へのサービス業務

21

医療健康情報サービス研修の内容

図書・雑誌等資料の収集・整理（分類・目録）業務

○ 資料の購入・受入

選書基準

- 原則として発行後5年以内のもの
- 著者が定評のある人物や学会等
- 医学書出版で定評のある出版社
- 参考文献が書かれているもの
- 医学、看護学雑誌の書評で取り上げられているもの
- 専門家による推薦があるもの

22

医療健康情報サービス研修の内容

図書・雑誌等資料の収集・整理（分類・目録）業務

○ 収集

他機関からの寄贈

職員からの寄贈

学会誌、学会プログラム・抄録集

○ 分類

医学専門書 NLM米国国立医学図書館分類法

患者用図書 NDC日本十進分類法

23

医療健康情報サービス研修の内容

レファレンス・サービス業務

○ レファレンスインタビューの重要性

- 利用者の望む情報のレベル
 - 健康図書
 - 看護学
 - 医学専門書
 - 医学論文
- 利用者の用語は正しいか
 - うる覚え、聞き違い
- 他人に聞かれないように配慮

24

医療健康情報サービス研修の内容

データベース検索業務

・ 文献検索 医中誌Web JDreamⅢ 最新看護索引Web CiNii PubMed	・ 電子ジャーナル Science Direct病院版 ProQuest Medical Library MEDLINE with Full Text メディカルオンライン
・ 臨床サポートツール UpToDate DynaMed	・ 診療ガイドライン Mindsガイドラインライブラリ

25

医療健康情報サービス研修の内容

その他、利用者へのサービス業務

○ 貸出業務

読書事実、利用事実を図書システムに残さない
(特定資料と特定個人を結びつけない)

○ 文献相互貸借

申込み(借) : 所蔵館調査、申込館の決定
(病院図書室、大学図書館、海外)
料金・入手時間で決定

受付(貸) : 迅速な処理

26

医療健康情報サービス研修の内容

その他、利用者へのサービス業務

○ 医療健康情報提供での注意点

- ・ 提供情報は当院の推薦・推奨を意味しないこと
- ・ 提供情報が利用者個人の状況にあてはまらないかもしれないこと
- ・ 当室が提供する医学情報には限界があること
- ・ 提供情報の出版年を知らせること
- ・ 利用者の自己診断を援助しないこと
- ・ 医学的質問は医師に相談することを薦めること
- ・ 図書館員の対応範囲外の質問には関連窓口・機関を紹介すること
- ・ 利用者の秘密を守ること
- ・ 免責事項を掲示すること

27

当室掲示の免責事項

医療関連書を利用する際のご注意

体に関する本をご利用になる時は、下記のことにご注意してお読みください。

- 1) これらの医療関連書の提供は、決して特定の本の内容や、治療法などを薦めている訳ではありません。
- 2) これらの医療関連書で得た、疑問への解答は、ごく一部分の解答でしかありません。
- 3) これらの医療関連書の内容は、必ずしもあなた自身の状態と、完全に同じではないかもしれません。
- 4) これらの医療関連書は、あなたと担当の医師と、より具体的な話し合いをしていただく材料としてご利用いただければ幸いです。

高知医療センター なるほどライブラリ

[新潟県立がんセンター新潟病院で掲示しているものを許可を得て掲載](#)

28

医療健康情報サービス研修の内容

その他、利用者へのサービス業務

- インターネット上の情報提供
 - ・ 情報提供の主体が明確で営利性のない情報
 - 公共の医療機関
 - 公的機関
 - 学会等

29

オーテピア高知図書館開館にむけて

知の拠点としての新図書館サービス検討委員会
平成28年「健康・安心・防災情報サービス分科会」



当方からの主なお願い

- 役割分担
 - ・ 病院では診断から治療までの資料を主に収集している。新図書館ではビフォー・アフター（予防と退院後の療養）の資料を充実してほしい
- 資料更新のための予算
 - ・ 医学書は5年程度で内容が古くなるため今後の資料更新予算の確保
- 職員の継続的な外部研修
 - ・ 日進月歩の医学の進歩に対応するため

30

当院と高知県立図書館の連携

第43回地域医療連携研修会

申込不要・入場無料
どなたでも参加できます。
当日、直接会場へ
お越しください。

講演1
ドキッ！動悸のはなし
～不整脈って本当に怖いのか？～
高知医療センター 循環器病センター長 山本克人

講演2
不整脈の薬のおはなし
高知医療センター 薬剤師 橋田真佐

平成28年**10月1日（土）**
14:00～15:40
高知市総合あんしんセンター3階
(高知市丸ノ内1丁目7番45号)

当日は、県立図書館の出前図書館が開館されます。テーマに関連した蔵書の展示・貸出サービスを行います。ぜひ、ご利用ください。

主催：高知医療センター・地域医療センター
【お問い合わせ先】地域医療連携部 担当：門本・松本
TEL：088-837-3000 (代)

共催：高知県医師会

31

オーテピア高知図書館 開館後の連携

○2018年10月「高知県がんと向きあう月間」連携展示企画

大学図書館、市町村立図書館・公民館図書室、病院図書室等を対象

企画名：「図書館発！高知家のがん制圧月間 がんと向きあう月間」

主催：オーテピア高知図書館
健康・安心・防災情報サービス担当

内容：本の展示、チラシ・パンフレット等の配布

32

高知医療センターでの 「図書館発！高知家のがん制圧月間 がんと向きあう月間」展示



33

今後を考える

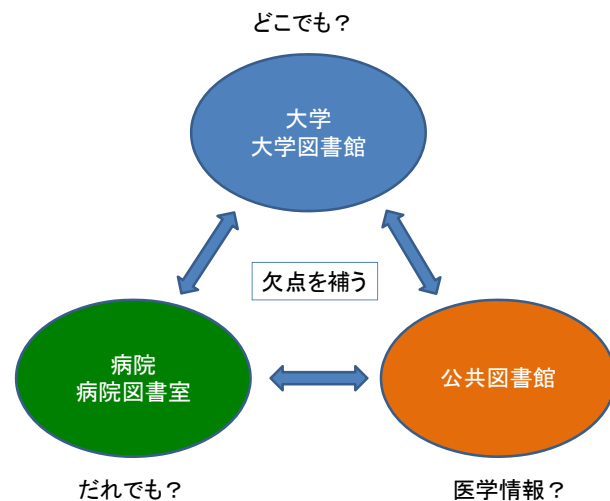
がんの情報や健康医療情報の提供は
自館の資料や知識だけでは限界があり、
他機関との連携が必要

- ・連携の基本は人と人、人と知り合う
- ・知識を持ち寄り共通の目標に向かう

目的は「いつでも」「どこでも」「だれでも」
が情報を得られるように

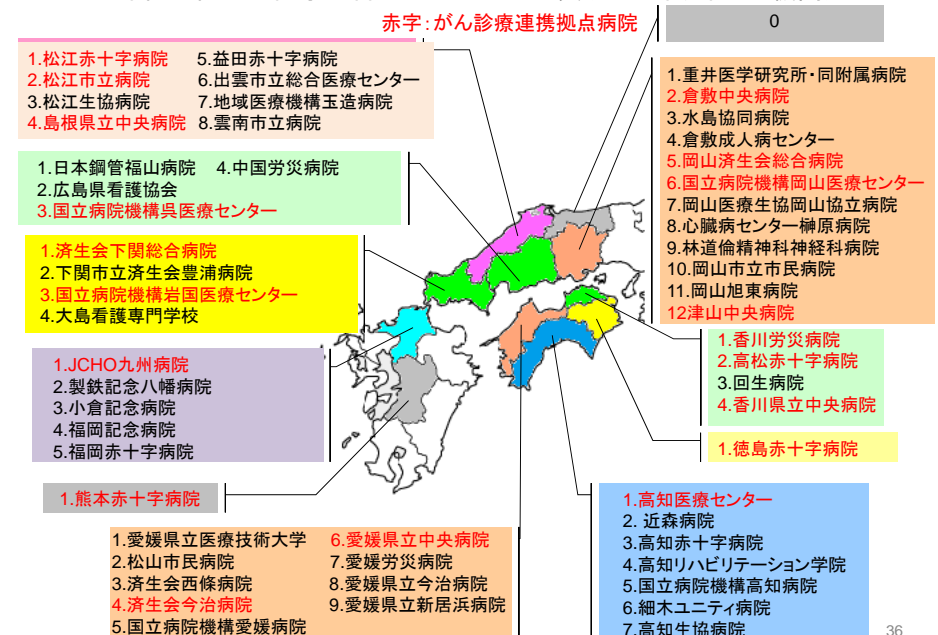
34

他機関との連携



35

中国四国九州医学図書室ネットワーク会員(2018年現在:55機関)



36